

つい先頃まで、インドと言えば貧困や飢餓の代名詞であった。職を容易に見つけることの出来ない最高位カーストのバラモン学生が、低カースト出身者に教育機会や雇用機会を優先的に与える留保制（リザーベーション）の拡大に反対し、焼身自殺を凶っていた。1960年代後半から始まる安定した地下水を前提とした集約的農業——「緑の革命」と呼ばれる——の進展による井戸掘削の激増が、地下水の枯渇、あるいは地下の塩分の表出による塩害を引き起こし、そのうちインド農業は深刻な問題に直面すると警告されていた。低賃金農業労働者の大量の存在は、その低い賃金のゆえに農業の機械化の普及を阻むとも言われていた。ヒンドゥー的成長率と揶揄された低い経済成長率の原因は、カースト制に代表される非近代的な身分制度にあるとも説明されていた。しかし、これらの解釈のいくつかいくつが現在のインドを形容しうるのだろうか。今では、インドは世界を牽引する経済成長を遂げる国であり、バラモン達は国内外のIT産業を引っ張り、農業生産の増大はインドを主要な農産物輸出国へと変身させ、農村にはトラクターどころかハーヴェスターさえ見かける。カースト制さえも、経済発展の原動力であるかのように言われ、21世紀はインドの世紀であるとの声さえ聞く。その一方で、借金苦の農民の自殺が相次ぎ、耕作放棄地が増え、地下水位は低下し続け、洪水の被害は大きく、製造業のシェアも正規労働者のシェアも伸びず、賃金格差は想像を絶するほど大きいままである。いったい、何が本場で何が間違いなのか、何が変わっているのか、それとも何も変わっていないのか。

本シリーズの各巻は、激動の状況をさまざまな局面から描く『変動のゆくえ』、人口・耕地動向から環境全体の動向を扱う『環境と開発』、もつとも注目すべき動きを示している経済を対象とする『経済成長のダイナミズム』、さまざまな地域的偏差を見せながら激しい変化を見せる農村部を扱った『農業と農村』、生き方、世界観、暮らし、生活の場など、ひと自身とひとを取り巻く生活のありかたの変化を探る『暮らしの変化と社会変動』という大きな領域毎に、それぞれ一つの巻を構成している。全5巻が互いに連携しつつ、インドの変化の本質を剔出しようという構成となっていることを理解して頂けば幸いである。

第1巻 『変動のゆくえ』

水島司編

激しい動きの表層の中で、何が成長し何が足を引っ張っているのか。長期的な動きの中に現在を置き、人々の生きる姿をとらえ、激流の中核を抉り出す。

第1部 長期社会変動

- 1章 長期変動のなかのインド
 - 2章 流動する都市と農村
- 第2部 激動を生きる
- 3章 教育の現在
 - 4章 デモクラシーとジェンダー
 - 5章 農民の自殺
 - 6章 健康問題の諸相と生活の質
- 第3部 成長の可能性
- 7章 経済自由化期のアパレル産業
 - 8章 製菓産業
 - 9章 乳業の近代化と農村経済の変容
 - 10章 電力セクターのゆくえ

第2巻 『環境と開発』

水島司・川島博之編

長期にわたる農業開発と人口増大の過程は、インドの食糧問題、環境問題を深刻なものとするのか。インドの発展が抱える問題を、国際的比較の中で捉える。

第1部 環境の長期変動

- 1章 人口の長期変動と開発
 - 2章 19世紀後期からの人口動向と環境
 - 3章 降水動向と農業・都市
- 第2部 今日の環境問題
- 4章 インドの農村と食料生産
 - 5章 食料生産に伴う窒素循環と環境汚染
 - 6章 県別窒素負荷量の推計からみるインドの環境問題
- 終章 これからのインドの環境問題をどう考えるか

第3巻 『経済成長のダイナミズム』

絵所秀紀・佐藤隆広編

2011年に購買力平価基準で日本を追い抜き、既に世界第3位の経済大国となったインド。その成長のダイナミズムにメスを入れ、インド経済の行方を展望する。

第1部 国際比較でみたインド経済

- 1章 世界のなかのインド経済
- 第2部 開発戦略の軌跡と評価
- 2章 インド経済の転換点
 - 3章 貧困削減と社会開発
 - 4章 金融システムと経済発展
- 第3部 産業発展と構造変化
- 5章 現代小売業の発展
- 補論 Narantar Agrasar 社の小売事業戦略
- 6章 企業部門と経済発展
 - 7章 土地市場

第4巻 『農業と農村』

柳澤悠・水島司編

緑の革命は農村社会構造をどう変え、どのような地域的特徴と格差を生み出したのか。都市と農村の連動の中から、今後のインド農村の方向を見据える。

第1部 インド農村の長期動向と空間的位相

- 1章 農村社会構造の歴史的位相
 - 2章 土地改革と階層変動
 - 3章 農業生産の長期変動
 - 4章 県データで見た農業生産の長期変動とその空間的特徴
- 第2部 異相化する農村社会
- 5章 バンジャープ
 - 6章 タミルナード
 - 7章 ビハール
 - 8章 西ベンガル
- 第3部 経済成長の中の農村社会
- 9章 開発行政と農村社会
 - 10章 労働力移動と農村社会
 - 11章 経済成長を支える農村市場
- 終章 インド農業の新段階

第5巻 『暮らしの変化と社会変動』

押川文子・宇佐美好文編

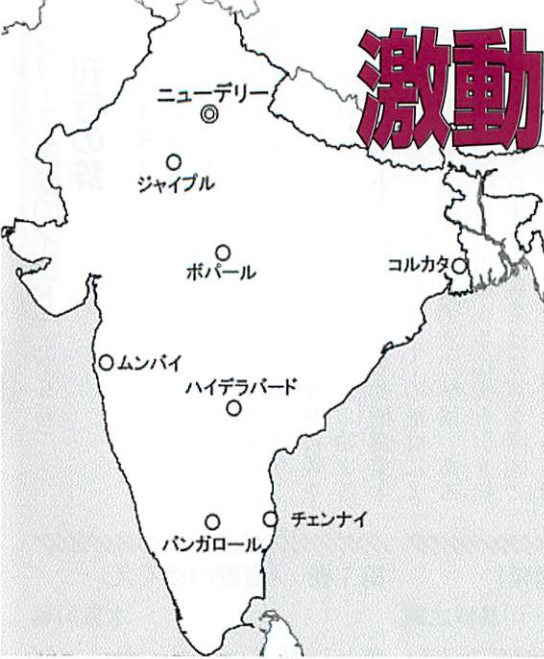
激動の中で、人々の生活はどのように変わったのか。衣や食、労働、結婚、出産などのあり方を分析し、その変化の要因と地域差、階層差を探る。

第1部 データでみる暮らしの変化

- 1章 生きる
 - 2章 食べる
 - 3章 着る
 - 4章 モノと生活
 - 5章 働く
- 第2部 暮らしを変えるのは何か？
- 6章 子どもの健康と下痢症
 - 7章 インフラの普及と地域間格差
 - 8章 農村・都市労働移動と人的資本投資
 - 9章 性別選択による産み分けの動向
- 終章 暮らしの変化と社会のゆくえ

激動のインド

【全5巻】



A5判上製カバー装
各巻平均 300 頁
各巻予価 4,000 円
2013 年 11 月より刊行開始

日本経済評論社

東京都千代田区神田神保町 3-2 〒101-0051
電話：03-3230-1661 FAX：03-3265-2993
URL <http://www.nikkeihyo.co.jp>

激動のインド 全5巻

2013 年 11 月より刊行開始
A 5 判上製カバー装
各巻平均 300 頁
各巻予価 4,000 円

執筆者一覧

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 宇佐美好文：東京大学（2巻、4巻、5巻） | 上池あつ子：国立民族学博物館（1巻、3巻） |
| 押川 文子：京都大学（1巻、4巻、5巻） | 古田 学：京都大学（3巻） |
| 黒崎 卓：一橋大学（4巻、5巻） | ビュシュクマール・シンハ： |
| 杉本 大三：名城大学（4巻、5巻） | インド経営大学院アフマダーバード校（3巻） |
| 藤田 幸一：京都大学（4巻） | スリカント・ゴーカーレー： |
| 水島 司：東京大学（1巻、2巻、4巻） | インド経営大学院アフマダーバード校（3巻） |
| 柳澤 悠：東京大学名誉教授（4巻） | スジョ・トーマス： |
| 佐藤 隆広：神戸大学（3巻） | インド経営大学院アフマダーバード校（3巻） |
| 外川 昌彦：広島大学（1巻） | イブシット・バットチャルヤ： |
| 川島 博之：東京大学（2巻） | インド経営大学院アフマダーバード校（3巻） |
| 関戸 一平：東京大学（2巻） | 藤森 梓：大阪成蹊短期大学（1巻） |
| 新藤 純子：山梨大学（2巻） | 福味 敦：東海大学（1巻） |
| 岡本 勝男：農業環境技術研究所（2巻） | 伊藤 高弘：神戸大学（5巻） |
| 高橋 昭子：東京大学（2巻） | 喜多村百合：筑紫女学園大学（1巻） |
| 石上 悦朗：福岡大学（3巻） | 和田 一哉：長崎県立大学（4巻、5巻） |
| 絵所 秀紀：法政大学（3巻） | 栗田 匡相：関西学院大学（5巻） |
| 山崎 幸治：神戸大学（1巻、3巻、5巻） | 森 悠子：日本学術振興会（5巻） |
| 西尾圭一郎：松山大学（3巻） | 塩野 豊人：（株）シーテック（2巻） |

注文書

取扱店

激動のインド

各巻定価（予価 4,000 円＋税）

【】を申し込めます

お名前

ご住所

TEL ()

発行/日本経済評論社